

高齢者、障害者に安全な旅を

観光業者らが研修会

富士河口湖

高齢者や障害者にとって安心・安全な旅行(外出)について研修する「第3回ユニバーサルツーリズム研修会」が9日、富士河口湖町の「富士レークホテル」であり、県内外の観光業者ら約30人が参加した。

一般社団法人「バリアフリー旅行ネットワ

ーク」(平森良典・理事長)が主催。バリアフリー化を進める同ホテルの井出泰済社長がバリアフリーを必要としている客を、A(車いすで自立不可)▽B(同自立可)▽C(杖、

歩行器使用)▽D(聴覚・視覚・知的・精神障害)——に分けて対応した結果、一般客に比べて約2・4倍のリピーター率だった、などの事例を報告した。

またバリアフリーリフォーム工務店「藤原建設」の藤原修社長は「バリアフリーは普通の生活に必要な設備で

あり特殊なことではない」と説明。参加者は、同ホテルのバリアフリー設備を視察するなどした。【小田切敏雄】



高齢者や障害者の受け入れについて報告する「富士レークホテル」の井出泰済社長。富士河口湖町船津の同ホテルで